

2027年3月期

第1四半期 決算説明資料



JTP 株式会社

Connect to the Future

2026年8月10日



© JTP Co., Ltd. All Rights Reserved.

I. 事業概要



© JTP Co., Ltd. All Rights Reserved.



JTP 株式会社

所在地

東京都品川区北品川4-7-35 御殿山トラストタワー14F

設立

1987年10月31日

社員数

460名（2026年4月1日時点）

事業内容

ICTシステム設計・構築・運用 / AIサービス開発
医療機器の輸入販売・保守

拠点

東京 / 栃木 / 大阪 / 京都 / 福岡 / インド・デリー

上場市場

東証 スタンダード



事業領域

Outsourcing Business

ICTシステムの設計・構築・運用・保守等
アウトソーシング事業

Solution Business

ソーシング事業で培った
知見を自社ソリューションに転換



アウトソーシング事業



ICT教育

オンライン配信
e-ラーニング
集合研修



テクニカルサポート

マルチリンガル
L1-L2 サポート
24x365



システム構築

マルチクラウド
仮想化/セキュリティ
コンテナ/k8s



システム運用

オフサイト運用
オンサイト運用
ITIL準拠



医療システム

医療機器製造業/販売業
医療機器修理業
システム導入・運用支援



化学分析システム

GC/LC装置 ※
適格性確認(IQ/OQ/PQ)
LMIS※ 導入・運用支援

※GC:ガスクロマトグラフィー
LC:液体クロマトグラフィー
LIMS:ラボラトリー情報管理システム



ソリューション事業



Kyrios

クラウドトータル
ソリューション



生成AI
ソリューション



グローバル
ITスキルアセスメント



Learning Booster

ITスキルマネジメント
プラットフォーム



RedLens

予防型セキュリティ
ソリューション



daimon
AI-Driven Development Solution

AI駆動開発
ソリューション



薬機法対応
ワンストップサービス



グローバルIT人材
紹介サービス

事業概要



4つのセグメントで事業を運営

デジタルイノベーション

■ 人財育成コンサルティング

- ・ 人財育成コンサルテーション
- ・ スキルアセスメント
- ・ 研修実施・運用

■ セキュリティ

- ・ 企業向け予防型セキュリティソリューションの提案・実装
- ・ 運用保守、改善活動

■ DX開発

- ・ ThirdAI（サードアイ）を始めとするAI事業
- ・ アプリケーション開発事業

ICT

■ システム設計・構築

- ・ ICTシステムの設計・構築事業

■ システム運用

- ・ ICTシステムの運用
- ・ リモート運用サービス (Kyrios/キリオス)

ライフサイエンス

- ・ 医療機器、化学分析装置の保守サービス
- ・ 海外医療機器メーカー向けコンサルティングサービス
- ・ ライフサイエンス分野のICTサービス

その他（海外）

- ・ グローバルIT人財マッチングサービス「Reinforce HR」
- ・ 海外事業

売上高構成比



ICT

売上高構成比 **48.6%**

■ システム運用

■ システム構築

デジタルイノベーション

売上高構成比 **32.2%**

■ 人財育成コンサルティング

■ セキュリティ

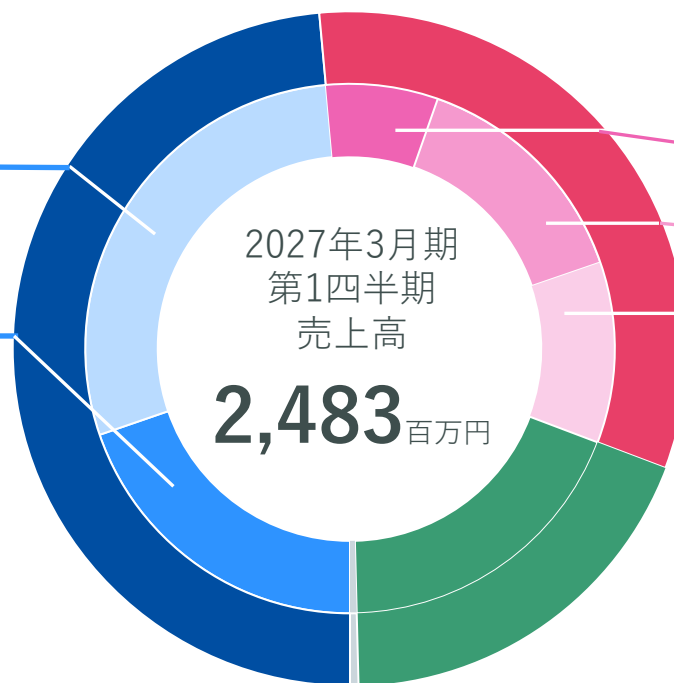
■ DX開発

ライフサイエンス

売上高構成比 **18.8%**

その他（海外）

売上高構成比 **0.4%**



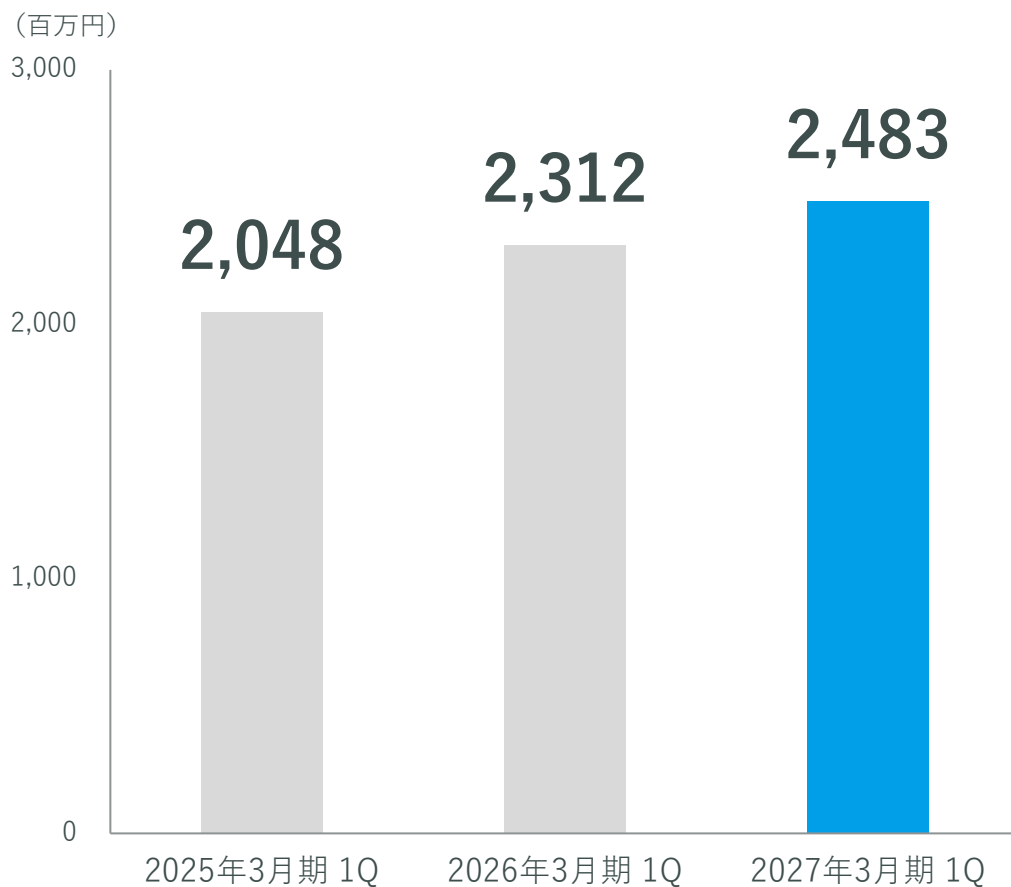
An aerial photograph of a city skyline, likely Tokyo, with numerous skyscrapers and dense urban development. The image is overlaid with a large, semi-transparent blue triangle on the right side. Within this triangle, there are various digital graphics and data visualizations, including line charts, bar graphs, pie charts, and a central globe with data points. The overall theme is technology and data.

Ⅱ. 2027年3月期 第1四半期 決算実績



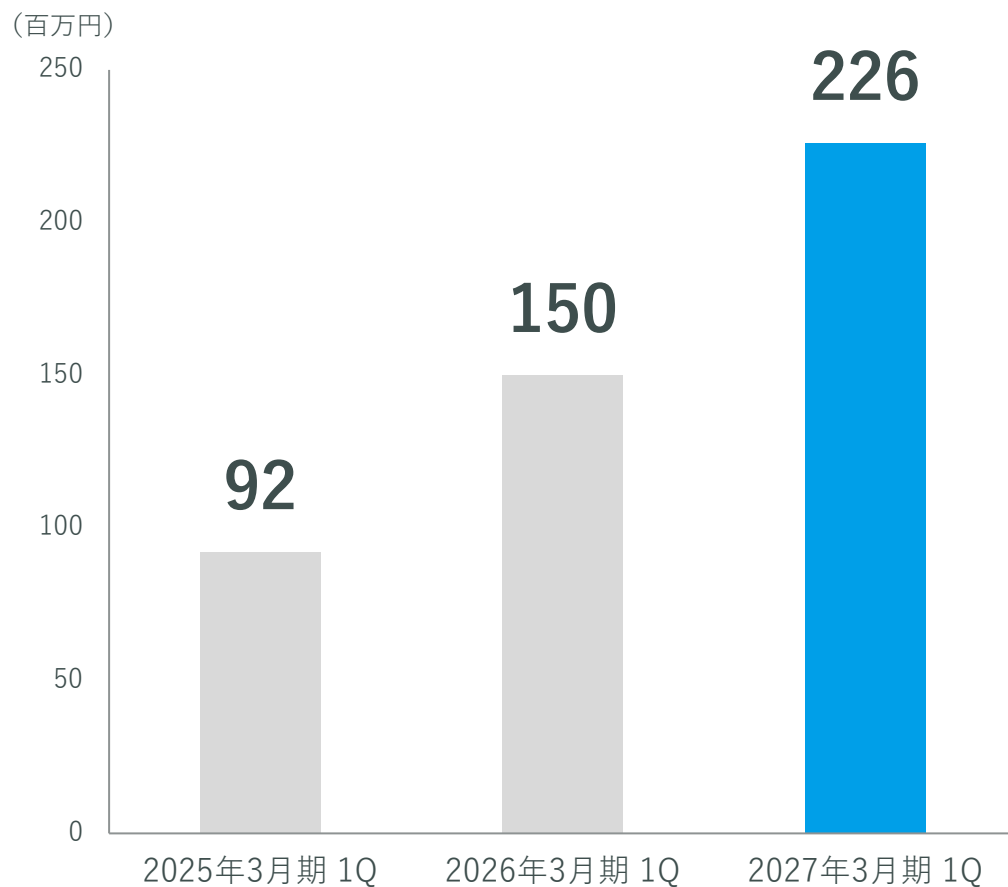
- ✓ 売上高は前年同期比7.4%増、営業利益は同51.3%増と、増収・大幅増益を達成
- ✓ デジタルイノベーション事業が大きく伸長、全社利益の拡大を牽引
- ✓ 生成AI関連案件、セキュリティ需要、人財育成需要の拡大を背景に、高付加価値案件へのシフトが進展

売上高



7.4%増収

営業利益

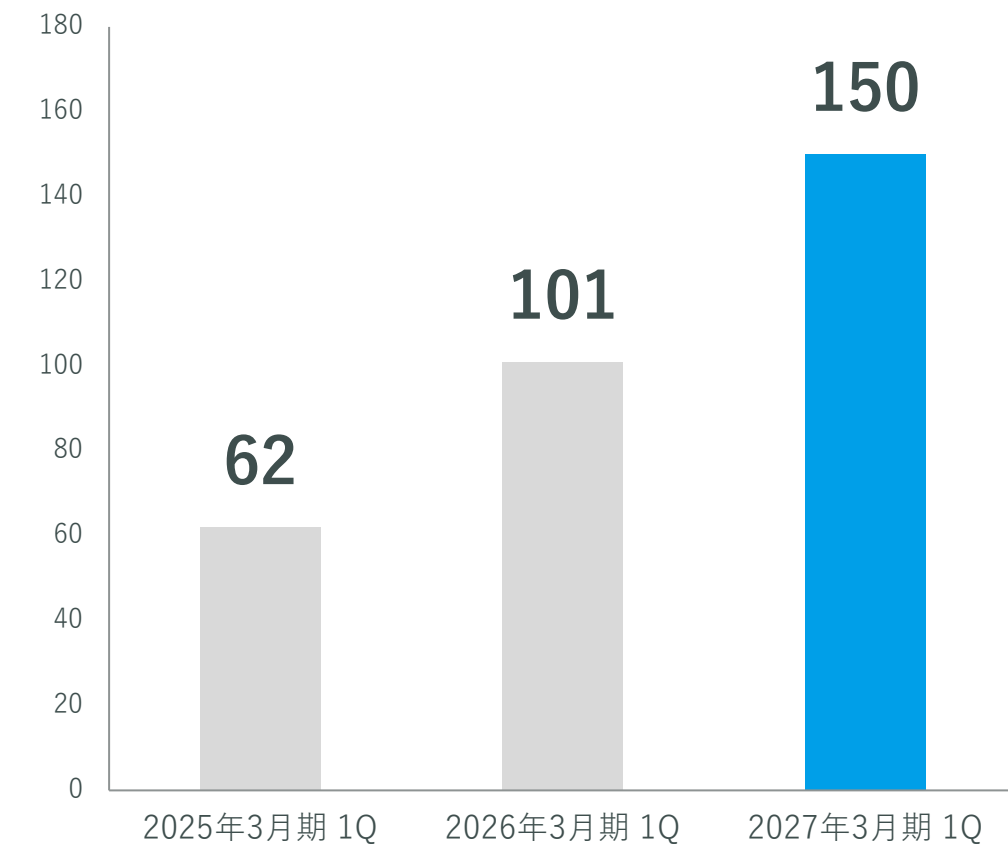


51.3%増益

四半期純利益



(百万円)



48.3%増益



2027年3月期 第1四半期 決算サマリー



(単位：百万円)	2026年3月期	2027年3月期			
	第1四半期	第1四半期		通期	
	実績	実績	前年同期比 (%)	業績予想	達成率 (%)
売上高	2,312	2,483	+7.4%	10,000	24.8%
営業利益	150	226	+51.3%	1,000	22.6%
経常利益	153	227	+48.7%	1,000	22.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	101	150	+48.3%	700	21.4%

各事業セグメント売上高



		2026年3月期	2027年3月期			
(単位：百万円)		第1四半期	第1四半期		通期	
事業セグメント	サブセグメント	実績	実績	前年同期比 (%)	業績予想	進捗率 (%)
デジタル イノベーション	人財育成 ソリューション	125	169	+35.5%	499	34.0%
	セキュリティ	300	356	+18.4%	1,399	25.5%
	DX開発	133	274	+105.1%	900	30.5%
ICT	システム構築	554	489	△11.7%	2,102	23.3%
	システム運用	733	715	△2.4%	2,981	24.0%
ライフサイエンス		449	467	+4.1%	2,109	22.2%
その他		14	10	△31.9%	28	35.9%
合計		2,312	2,483	+7.4%	10,000	24.8%

各事業セグメント利益



		2026年3月期	2027年3月期			
(単位：百万円)		第1四半期	第1四半期		通期	
事業セグメント	サブセグメント	実績	実績	前年同期比 (%)	業績予想	進捗率 (%)
デジタル イノベーション	人財育成 ソリューション	18	57	+214.4%	168	34.4%
	セキュリティ	△4	33	—	132	25.2%
	DX開発	△22	43	—	174	25.1%
ICT	システム構築	124	96	△22.4%	525	18.5%
	システム運用	173	179	+3.6%	721	24.9%
ライフサイエンス		68	66	△3.8%	378	17.5%
その他		△1	△0.4	—	9	△4.3%
全社		△207	△250	—	△1,109	22.5%
合計		150	226	+51.3%	1,000	22.7%

セグメント別業績推移



デジタルイノベーション

人財育成ソリューション

- ・ 新入社員向け研修等の受注が増加

セキュリティ

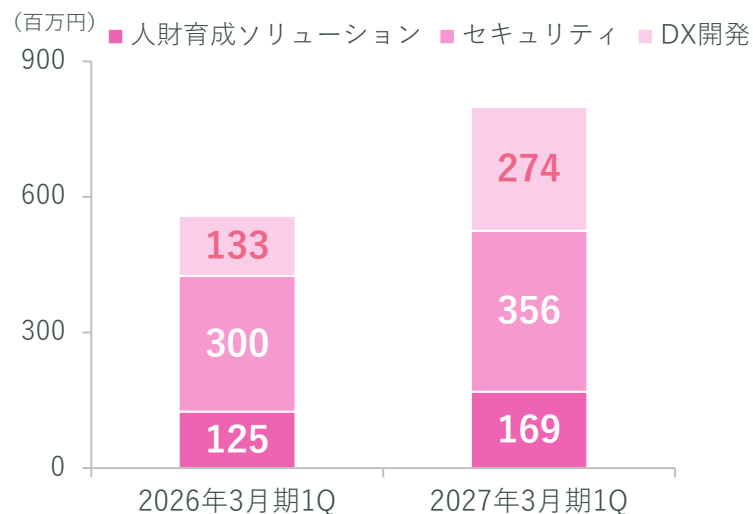
- ・ 内部脅威対策ソリューションが順調に拡大

DX開発

- ・ Third AIおよびアプリケーション開発が好調に推移

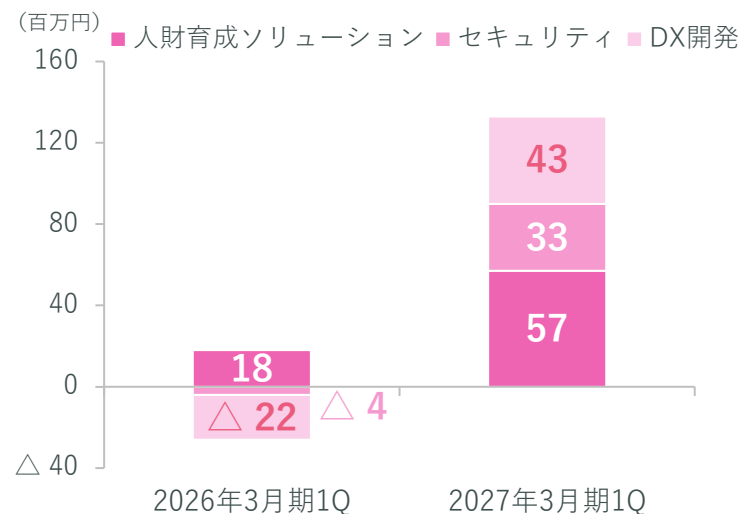
売上高

前期比 42.9%増収



セグメント利益

大幅黒字転換



セグメント別業績推移



ICT

システム構築

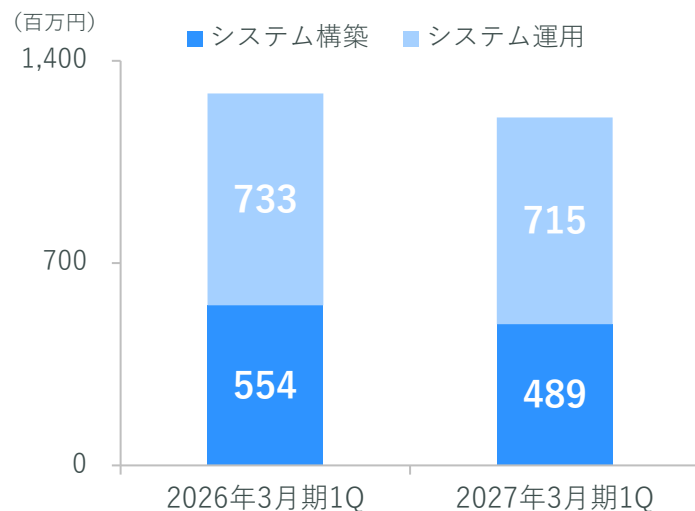
- ガバメントクラウド関連案件をはじめとする大型スポット案件の反動減

システム運用

- 「Kyrios」が伸長した一方、従来型の常駐運用サービスが減少し、減収ながら増益を確保

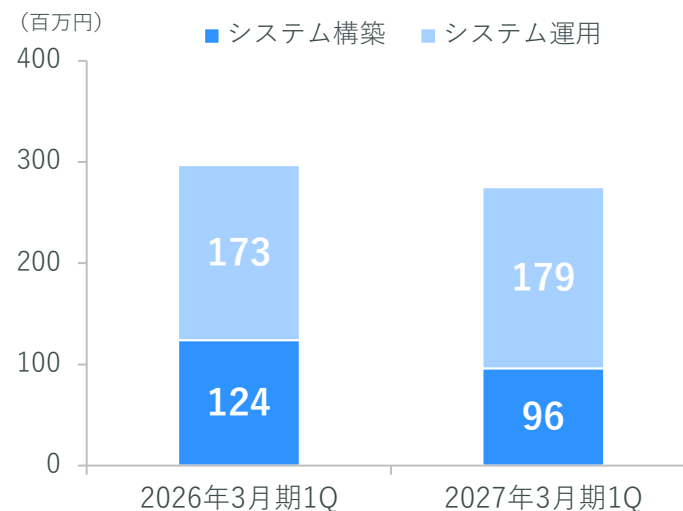
売上高

前期比 6.4%減収



セグメント利益

前期比 7.3%減益



セグメント別業績推移

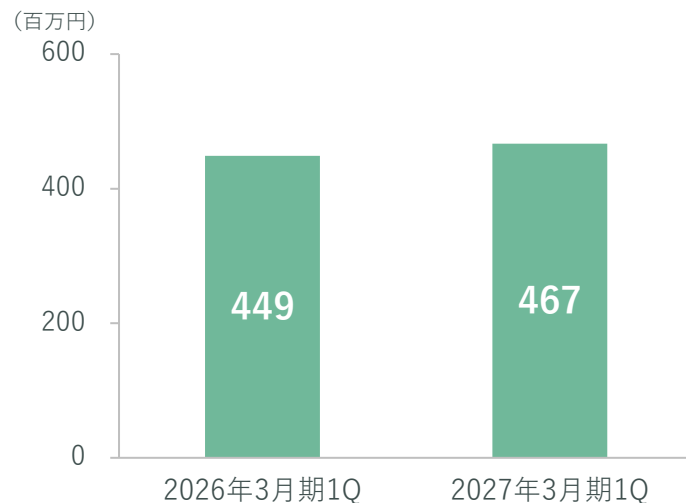


ライフサイエンス

- ・ ライフサイエンス分野のICTサービスが伸長
- ・ 人員体制強化等の影響により、セグメント利益は前年同期比で減少

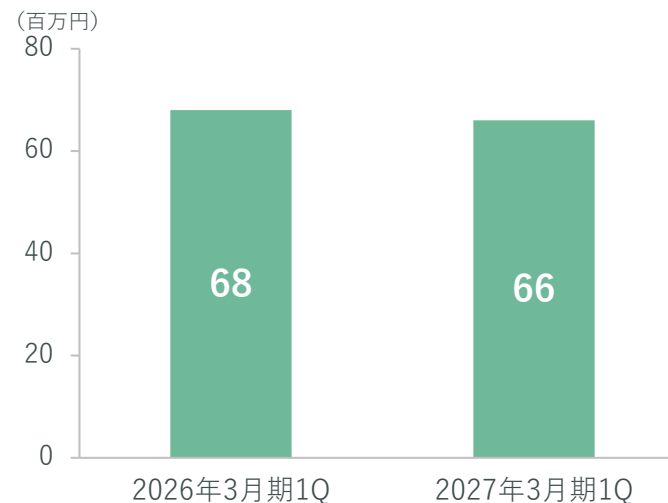
売上高

前期比 4.1%増収

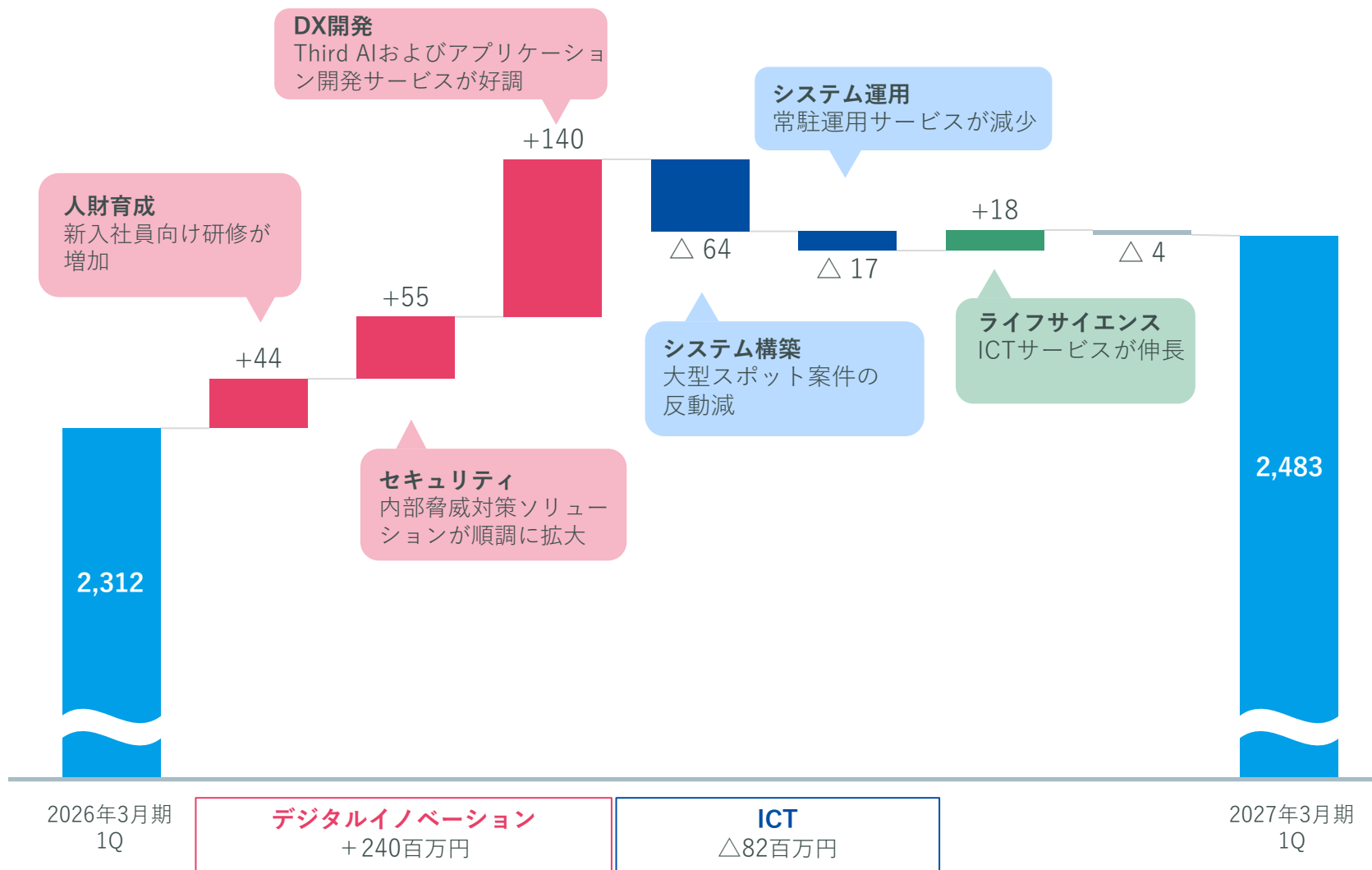


セグメント利益

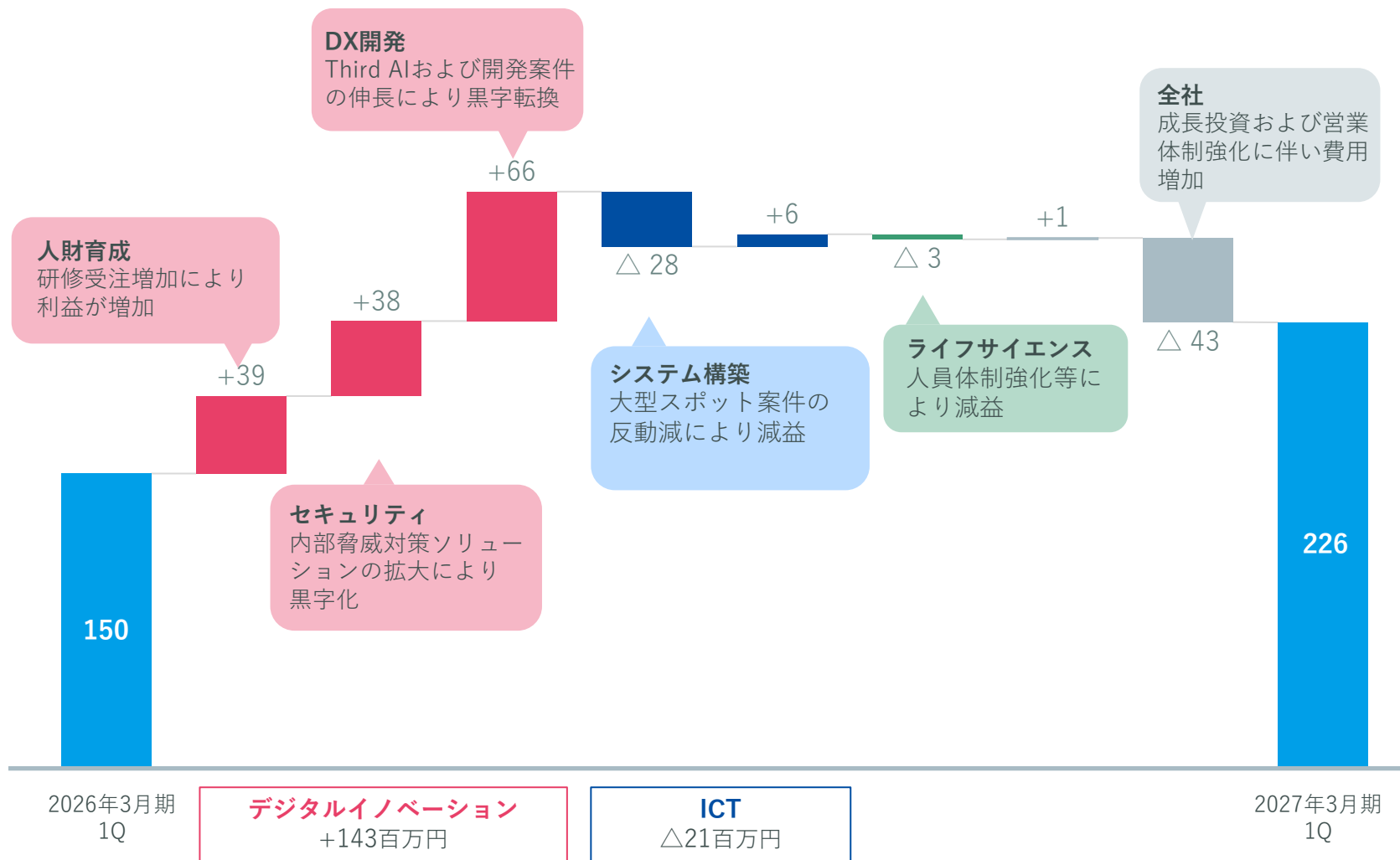
前期比 3.8%減益



売上高（増減分析）



営業利益（増減分析）



III. トピックス





SingleStore, Inc.と日本市場における再販契約を締結

リアルタイム処理とAI活用を支える次世代データベース
「SingleStore」の導入・運用支援を開始



導入から運用まで
一貫してサポート

- 日本語での技術サポート対応
- 専任チームが伴走

PoC
設計・実施

初期導入・
移行支援

運用・継続改善
サポート



SingleStore™

マルチAIエージェント時代のデータ基盤

- 業務データの処理と分析をひとつの仕組みで行えるため、データの移動や重複を減らし、より速く効率的な活用を実現
- 既存のMySQL環境から移行しやすく、生成AIを活用した新しいシステムづくりにも最適

統合データアクセス

ミリ秒レベルの応答速度

大規模同時接続

リアルタイムデータ取り込み



2027年3月期 第1四半期 トピックス②



AI エージェントの本格導入を支援する技術特化型企业による 「AI導入支援コンソーシアム」に発起企業として加盟



会員企業のサービスや商品を
ワンストップで紹介するマーケットプレイス

AIエージェント
技術コンサル

AIエージェント
導入支援

セキュリティ支援

AIデータセンタ

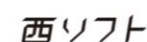
AIエージェント
教育

AI関連情報

AIサービス
購入支援

AIサービス
契約管理

発起企業一覧



発起企業名	主な提供サービス
ビープラッツ株式会社 https://www.bplats.co.jp/	各種AIサービスの購入支援、契約管理
クウジット株式会社 https://www.koozyt.com/	「AI設計支援基盤」「AI知識支援基盤」の技術的な支援の提供
	AI Agent Hubプラットフォーム提供、AI駆動開発支援、生成AI及びAIエージェント研修サービス
株式会社NTQジャパン https://jp.ntq.com.vn/	AIを活用したレガシーなソフトウェアのマイグレーション支援や、テストの自動化支援の提供
株式会社Coopel https://coopel.ai/	AIエージェントを活用した業務自動化支援
株式会社Def consulting https://def-consulting.co.jp/	AI導入コンサルティング、ITエンジニアによる現場での技術的な実装・定着化支援の提供
西ソフト株式会社 https://nishisoft.com/	AIエージェントを組み込んだオーダーメイド業務システムの受託開発、セキュリティ評価・監査対応支援、リモートCTO（技術顧問・開発）
株式会社AWLL https://www.awll.jp/	ITコンサル・システム開発、AI業務管理プラットフォーム「AWLL Studio」の販売・運営



2027年3月期 第1四半期 トピックス③



生成AIとクラウド技術認定者を拡大し顧客向けAI導入支援事業を強化

Japan All AWS Certifications Engineers/ Japan AWS Jr. Champions とともに3年連続選出

AWSから若手技術人財の表彰

Japan AWS All Certifications Engineers

APN 参加企業に所属し、「AWS 認定資格を全て保持している」AWS エンジニアを対象にした表彰プログラム

➡ 在籍エンジニア
11名選出

3年連続

Japan AWS Jr. Champions

APN 参加企業に所属し、AWS を積極的に学び、コミュニティのリードなど自ら起点となって周囲に影響を与えた、社会人歴1～3年目の若手エンジニアを対象とした表彰プログラム

➡ 在籍エンジニア
2名選出

3年連続

AWSとの強固な パートナーシップ



- Select Tier Training
- Well-Architected Partner Program

【パートナープログラム】

- アドバンスドティアサービス
- ティアトレーニングを選択
- 認定トレーニングパートナー
- コマーシャルセクターリーダー
- AWS Well-Architected Partner Program

【AWS認定資格】

- AWS 認定ソリューションアーキテクト - アソシエイト
- AWS 認定デベロッパー - アソシエイト
- AWS 認定クラウドプラクティショナー
- AWS Certified AI Practitioner
- AWS Certified Data Engineer - Associate
- AWS Certified Generative AI Developer-Professional
- AWS Certified CloudOps Engineer-Associate

2027年3月期 第1四半期 トピックス④



生成AI時代に必要な「問いを立てる力・見極める力」を身につける研修の提供

概要

- ・ 生成AIを業務で活用する際に必要な「問いを立てる力」と「見極める力」を、実務に近い演習を通じて身につける
- ・ AIを便利な回答生成ツールとして使うだけでなく、業務目的に沿って問いを設計し、AIの出力を検証・評価・改善しながら成果につなげる考え方を学ぶ

内容

問いを
立てる力

出力を
見極める力

情報検証力

生成AI時代に求められ
るスキルの理解

実務適用
ワークショップ

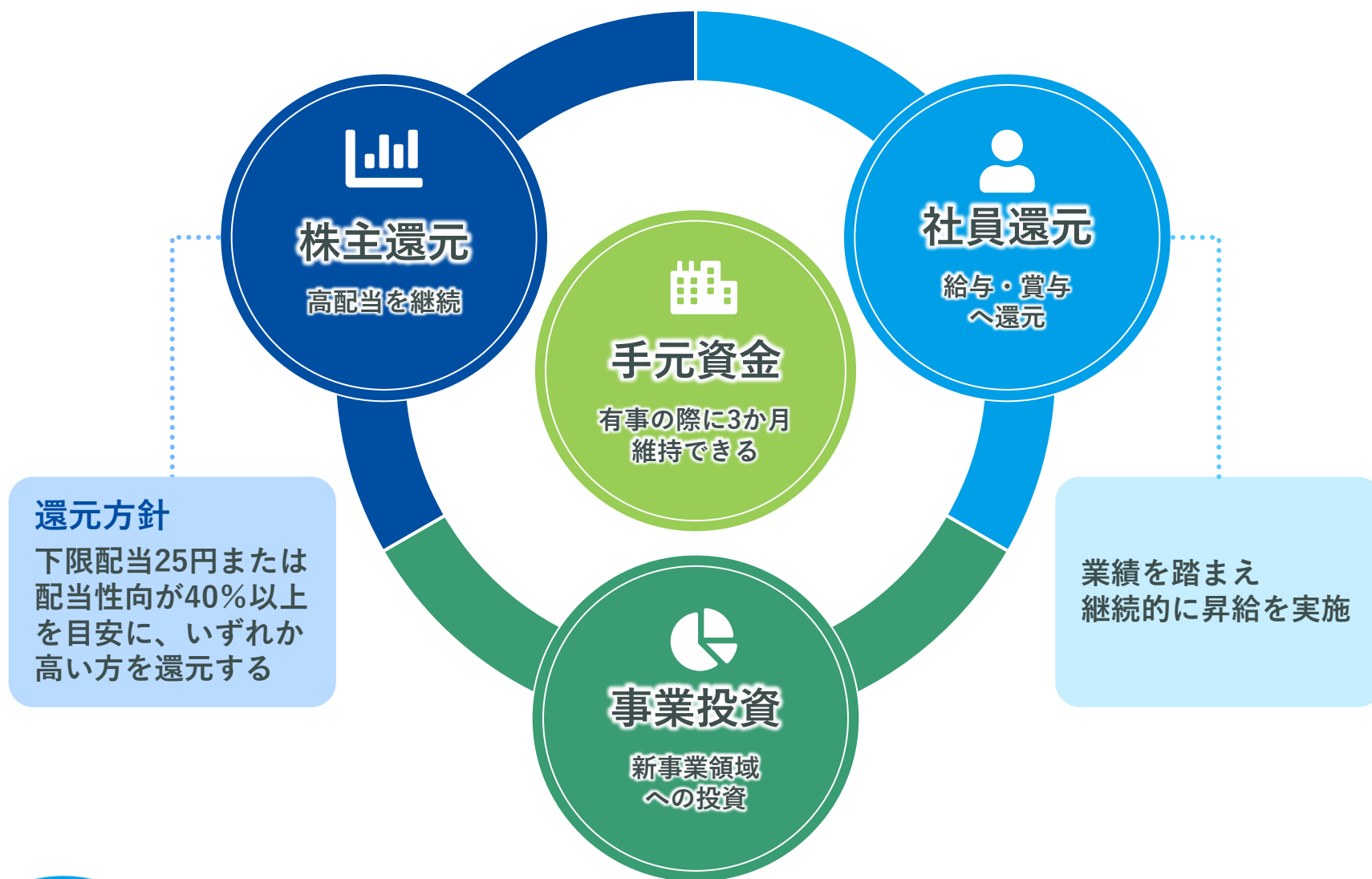
スキルを1日で習得

身につく力

- 業務目的に応じて、AIに適切な問いを立てる力
- AIの出力を事実・論理・表現・リスクの観点で確認する力
- AIの出力の採用・修正・保留・却下を判断する力
- 生成AIを業務プロセスに組み込む際の役割分担を考える力
- AI活用の成果や判断理由を周囲に説明する力

IV. 参考資料

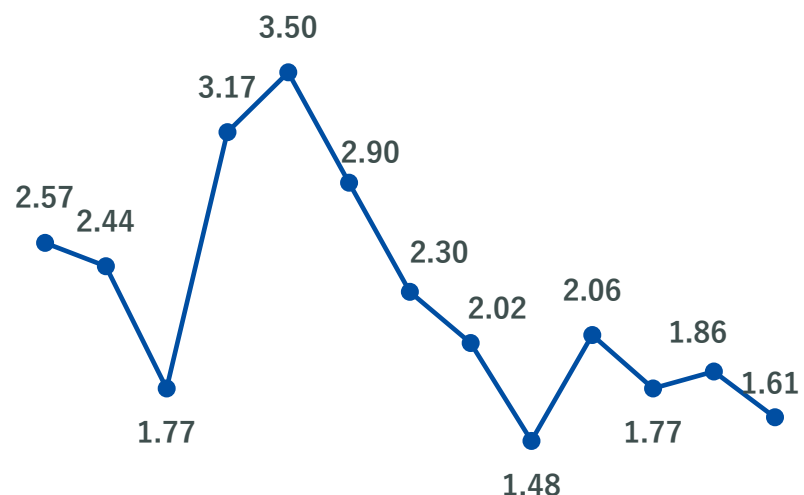
財務戦略（再掲）



企業価値向上にむけて（現状分析）

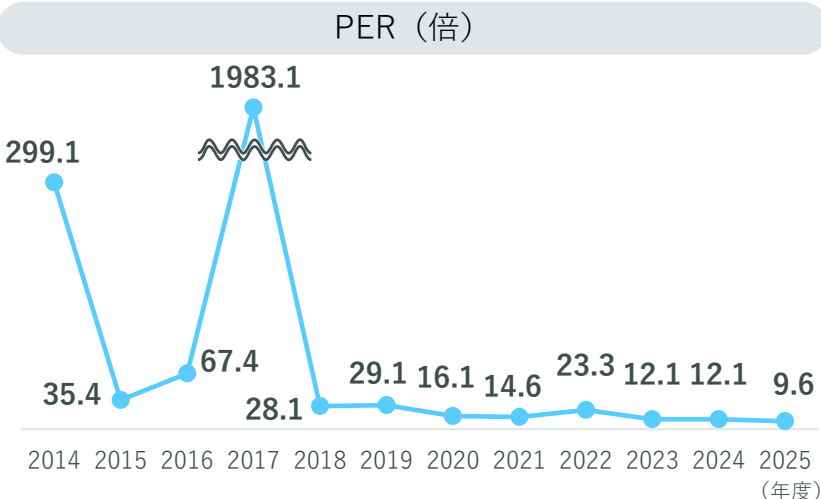


PBR（倍）



2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024 2025
(年度)

ROE (%)

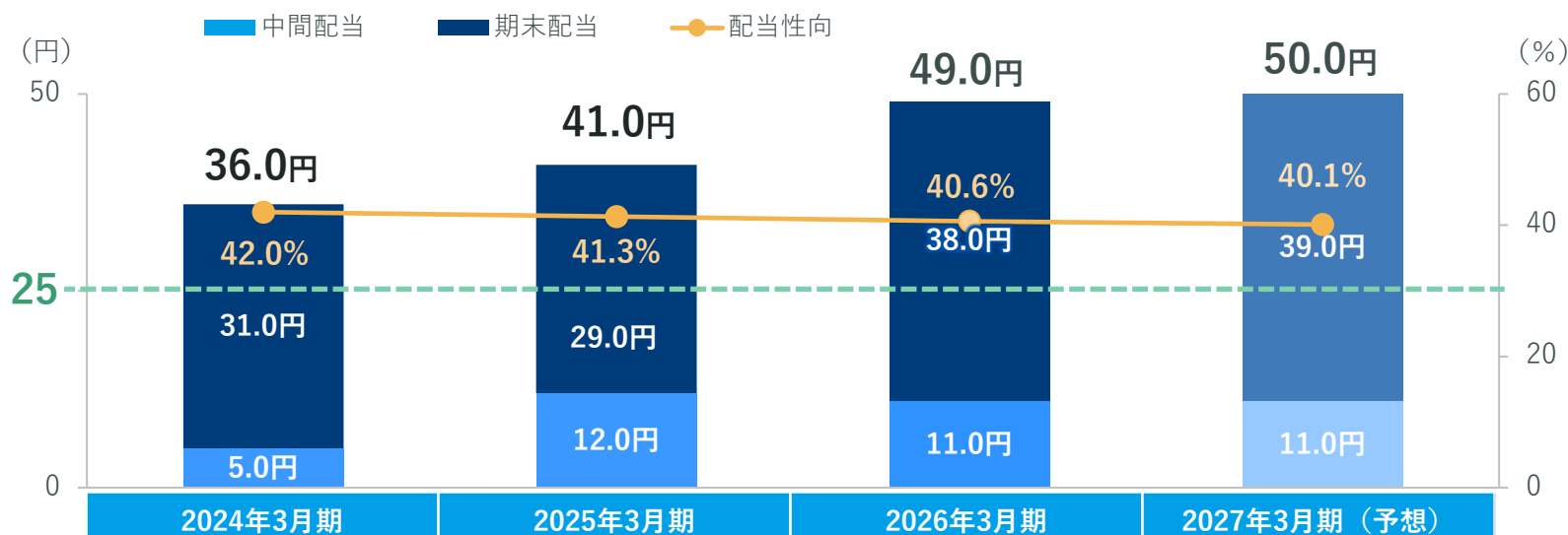


株主還元



- 高水準の配当を維持し、3期連続増配を実施
- 資本効率の向上および経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行するため、自己株式の取得を実施

自己株式取得
 上限 5億円
 上限 35万株
 期間 2026年8月まで



配当金(年間)	36.0円	41.0円	49.0円	50.0円
(期末配当)	31.0円	29.0円	38.0円	39.0円
(中間配当)	5.0円	12.0円	11.0円	11.0円
配当性向	42.0%	41.3%	40.6%	40.1%

ストック型・フロー型ビジネス



セグメント別ビジネスモデルの売上状況

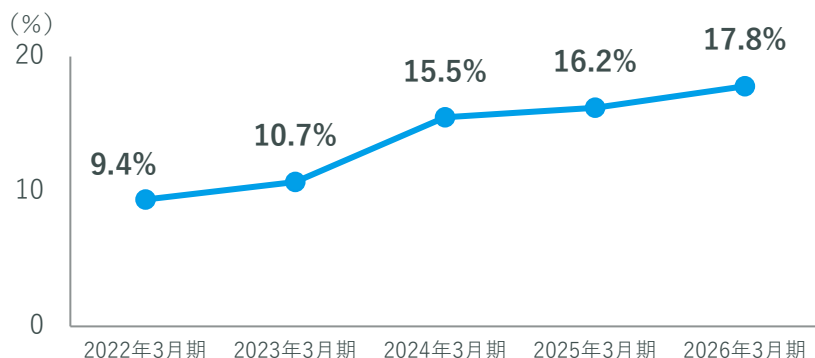
		2027年3月期1Q		ストックビジネスの定義
(単位：％)		売上構成比		
事業セグメント	サブセグメント	ストック	フロー	
デジタル イノベーション	人財育成 ソリューション	48%	52%	自社サービス（GAIT/Learning Booster）と 一部アウトソーシング契約
	セキュリティ	100%	0%	内部脅威対策関連サービス
	DX開発	62%	38%	ThirdAI関連サービス
ICT	システム構築	0%	100%	一部期間固定契約
	システム運用	100%	0%	ICTシステムの常駐運用サービス、 Kyriosサービス
ライフサイエンス		0%	100%	医療ICTの一部直接契約
その他		0%	100%	グローバルIT人財紹介サービス 「Reinforce HR（レインフォースエイチアール）」

過去5期指標推移



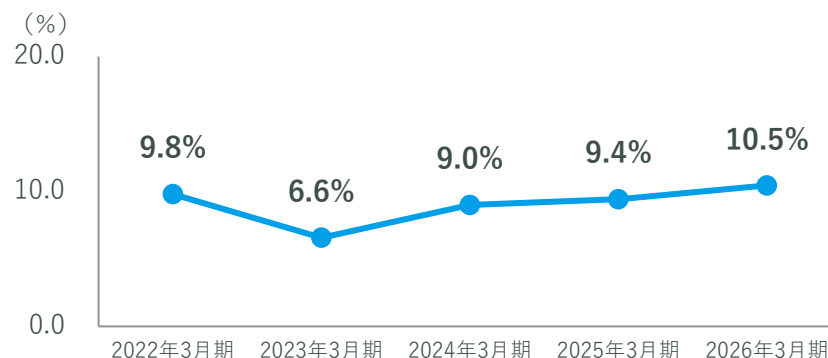
直近5期で、一定の自己資本比率を維持しながら、着実に利益を生む体質を構築。
今後もこの水準を維持していく方針

ROE（自己資本利益率）



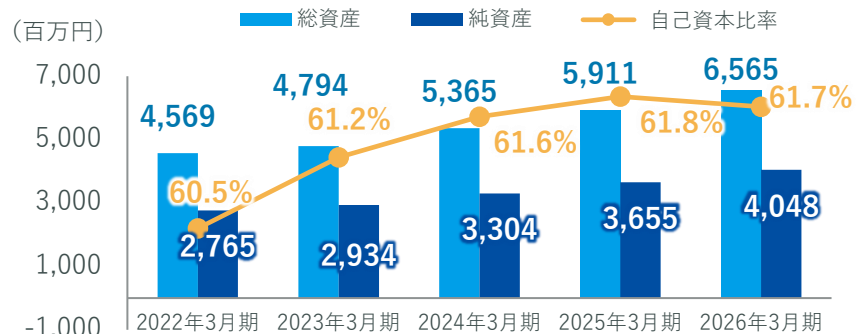
※出所：NIR提供データを弊社にて加工

ROA（総資産利益率）

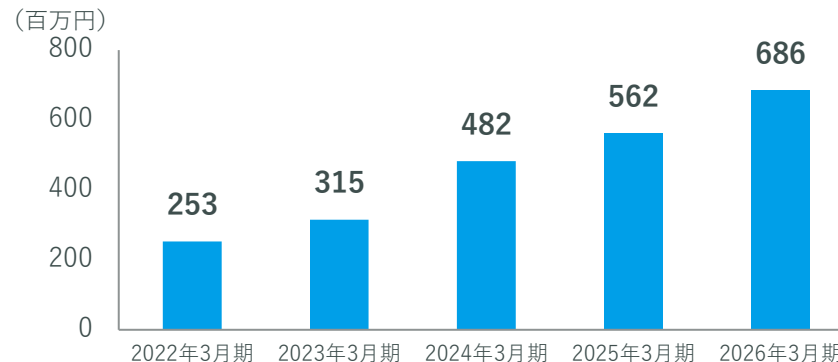


※出所：NIR提供データを弊社にて加工

総資産・純資産・自己資本比率 (%)



当期純利益



※当社は2024年3月期より単体財務諸表となっておりますので、参考比較となります



会社概要



会社名	JTP株式会社 JTP Co.,Ltd.
本社	東京都品川区北品川4-7-35 御殿山トラストタワー 14階
国内拠点	東京(本社)、栃木、大阪、京都、福岡
海外拠点	インド支店
施設	トレーニングセンター ・ 御殿山トレーニングセンター (東京・品川) テクニカルラボセンター ・ 東京テクニカルラボセンター (東京・五反田) ・ 関西テクニカルラボセンター (京都)
資本金	795,475,000円
設立	1987年10月31日
従業員	460名(2026年4月1日現在)
上場市場	東京証券取引所スタンダード 証券コード：2488 (2006年6月上場)
認定パートナー	Amazon Web Services APN アドバンスドコンサルティングパートナー IBM Silver Business Partner Microsoft Cloud Platform Gold コンピテンシー SoftBank AI エコシステム・パートナー LINE 公式パートナー



沿革

1987年 10月	日本サード・パーティ株式会社 設立
1992年 4月	本社にトレーニングセンタを設置、教育事業に進出
1994年 7月	東京テクニカルセンタを設置（現：東京テクニカルラボセンタ）
11月	ライフサイエンス部門で化学分析機器サービス事業に進出
2003年 3月	ライフサイエンス部門で医療機器サービス事業に進出
2006年 6月	ジャスダック証券取引所に株式を上場
2011年 8月	ライフサイエンス部門で放射線事業（放射性物質測定機器の取り扱い）を開始
2012年 1月	放射能プレミアムドックセンタを開設
10月	世界標準のITスキルアセスメントテスト「GAIT」の提供を開始
2013年 6月	デジタルマーケティング事業に進出、「Wayin（ウェイイン）」の提供を開始
2014年 11月	グローバルIT人材育成支援の一環として、全国統一学生ICTテストにGAITの提供を開始
2015年 1月	ロボティクス事業に進出、ヒューマノイドロボット「NAO」に関するサービスを開始
2016年 11月	JTPインテグレーションセンタを開設
2017年 6月	AI事業に進出、「Third AI（サードアイ）」の提供を開始
2019年 4月	インド支店を開設し、インドでの事業展開を開始
2020年 5月	日商エレクトロニクス株式会社と資本業務提携を開始
12月	アースアイズ株式会社と資本業務提携を開始
2021年 4月	社名を「JTP株式会社」に変更



財務データ推移



(単位：百万円)

	2016/3	2017/3	2018/3	2019/3	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3	2025/3	2026/3
売上高	4,743	4,634	4,748	5,472	6,245	6,310	7,040	7,381	8,119	9,211	9,897
売上原価・ 営業原価	3,918	3,731	3,746	4,408	4,998	5,197	5,818	6,046	6,584	7,342	7,889
売上総利益	824	902	1,001	1,063	1,246	1,112	1,221	1,335	1,534	1,868	2,007
販売費及び 一般管理費	587	707	749	824	775	761	785	870	903	1,048	1,043
営業利益	237	195	251	238	470	351	435	464	631	820	963
経常利益	234	136	258	247	483	382	470	476	665	828	980
当期純利益	81	3	184	154	309	267	253	315	482	562	686

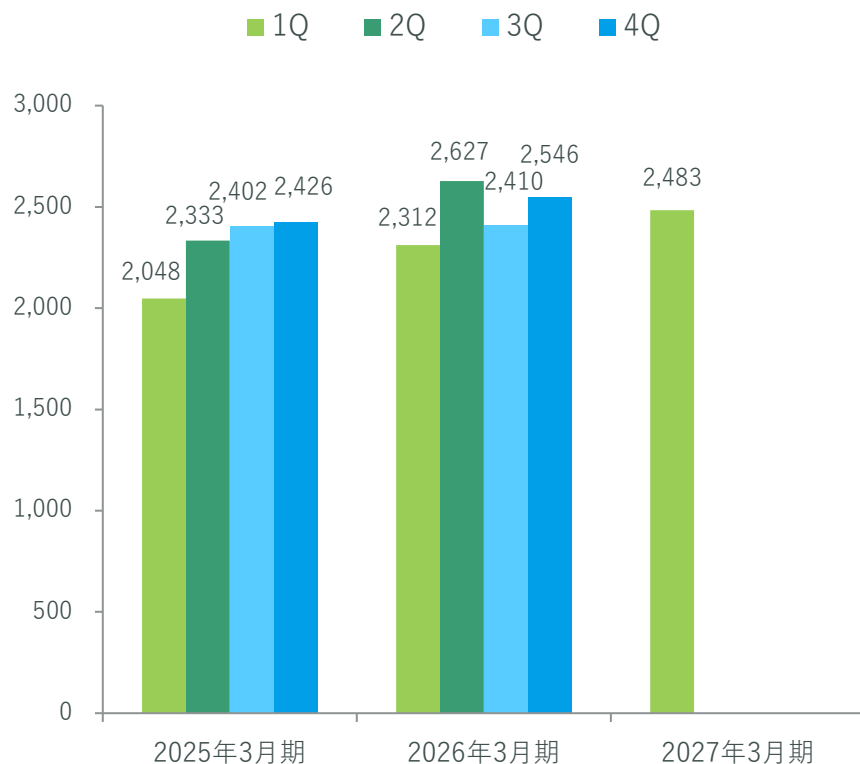
※当社は2024年3月期より単体財務諸表となっておりますので、参考比較となります



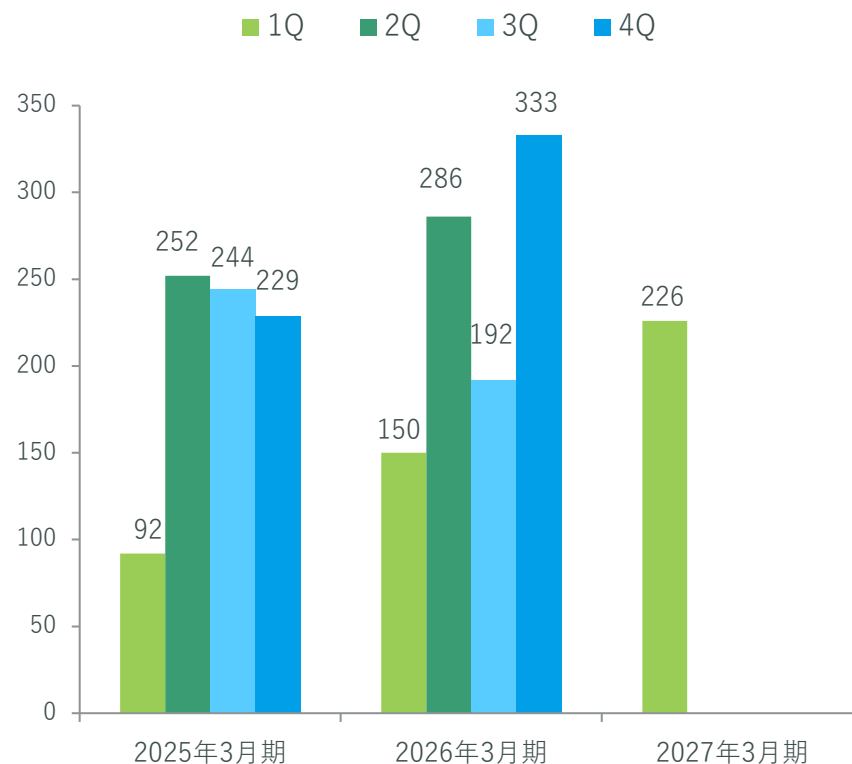
四半期別売上高・営業利益推移



売上高



営業利益



The background of the slide features a blue-tinted aerial view of a city skyline, likely Tokyo, with numerous skyscrapers. Overlaid on this image are various semi-transparent digital graphics, including line charts, bar graphs, pie charts, and a world map, creating a high-tech, data-driven aesthetic.

Connect to the Future

JTP 株式会社

この資料に記載されている業績の見通し等将来に関する情報は、現在入手可能な情報に基づいて作成しております
実際の業績は市場動向や業績情勢等の様々な要因等によって異なる可能性があります



© JTP Co., Ltd. All Rights Reserved.